

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【公開番号】特開2013-248028(P2013-248028A)
 【公開日】平成25年12月12日(2013.12.12)
 【年通号数】公開・登録公報2013-067
 【出願番号】特願2012-123518(P2012-123518)
 【国際特許分類】

A 6 1 H 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 H 7/00 3 2 2 B

A 6 1 H 7/00 3 2 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月17日(2014.10.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被施療者の脚を支持する脚支持部を少なくとも備え、内蔵された所定の施療機構で施療を実行するマッサージ機において、

前記脚支持部は、被施療者の左右の脚がそれぞれ入る溝部を生じさせた本体部と、当該本体部の溝部を取囲む部位に配設され、空気の給排により膨縮動作する施療機構としての脚用エアセルとを備え、

前記本体部は、各溝部ごとに、溝部の側面に位置する側壁部と、溝部の溝底に位置する底部とを少なくとも形成され、

前記本体部の各溝部で、前記底部中央から脚外側及び脚内側となる両側壁部にかけて傾斜面が形成され、当該傾斜面に脚外側と脚内側とで対をなす後側エアセルが配設されると共に、当該後側エアセルと並べて、側壁部の溝部開口寄り部位にそれぞれ前側エアセルが配設され、

前記後側エアセルが、一方の側端部に前記本体部への固定用の膨縮しない被固定部を形成され、当該被固定部を本体部の底部中央にそれぞれ固定されて、一対の後側エアセルの膨縮する部分を前記傾斜面に沿うようにそれぞれ位置させ、

前記前側エアセルが、一方の側端部に前記本体部への固定用の膨縮しない被固定部を形成され、当該被固定部を本体部の各側壁部の底部寄り部位に固定されて、前側エアセルの膨縮する部分を側壁部のエアセル固定箇所より溝部開口に近い側に位置させ、

各エアセルを膨縮動作させる空気給排調整機構が、前記前側エアセル及び後側エアセルの脚内側に位置するものを膨張させ、且つ残りの脚用エアセルは膨張させない状態と、前側エアセル及び後側エアセルの脚外側に位置するものを膨張させ、且つ残りの脚用エアセルは膨張させない状態とを、所定周期で切替可能とされることを

特徴とするマッサージ機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明に係るマッサージ機は、被施療者の脚を支持する脚支持部を少なくとも備え、内蔵された所定の施療機構で施療を実行するマッサージ機において、前記脚支持部は、被施療者の左右の脚がそれぞれ入る溝部を生じさせた本体部と、当該本体部の溝部を取囲む部位に配設され、空気の給排により膨縮動作する施療機構としての脚用エアセルとを備え、前記本体部は、各溝部ごとに、溝部の側面に位置する側壁部と、溝部の溝底に位置する底部とを少なくとも形成され、前記本体部の各溝部で、前記底部中央から脚外側及び脚内側となる両側壁部にかけて傾斜面が形成され、当該傾斜面に脚外側と脚内側とで対をなす後側エアセルが配設されると共に、当該後側エアセルと並べて、側壁部の溝部開口寄り部位にそれぞれ前側エアセルが配設され、前記後側エアセルが、一方の側端部に前記本体部への固定用の膨縮しない被固定部を形成され、当該被固定部を本体部の底部中央にそれぞれ固定されて、一对の後側エアセルの膨縮する部分を前記傾斜面に沿うようにそれぞれ位置させ、

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

前記前側エアセルが、一方の側端部に前記本体部への固定用の膨縮しない被固定部を形成され、当該被固定部を本体部の各側壁部の底部寄り部位に固定されて、前側エアセルの膨縮する部分を側壁部のエアセル固定箇所より溝部開口に近い側に位置させ、各エアセルを膨縮動作させる空気給排調整機構が、前記前側エアセル及び後側エアセルの脚内側に位置するものを膨張させ、且つ残りの脚用エアセルは膨張させない状態と、前側エアセル及び後側エアセルの脚外側に位置するものを膨張させ、且つ残りの脚用エアセルは膨張させない状態とを、所定周期で切替可能とされるものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、このように本発明によれば、溝部に面する底部と側壁部との間に、傾斜面が配置され、後側エアセルがこの傾斜面に沿って膨張、収縮することにより、後側エアセルが後方から傾斜面に支えられて、膨張時に溝部内の脚のふくらはぎ部分に対して斜め方向から押圧する状態を確保でき、膨張した後側エアセルの脚に対する押圧力の横向き成分の割合をより大きくして、脚内側と脚外側の対をなす後側エアセルをいずれも膨張させた場合に、確実に脚のふくらはぎ部分をつまむように挟んで押圧できる。加えて、人の手でふくらはぎ部分をつまむようにする施術により近い刺激を与えられ、さらにマッサージ効果を高められる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、本発明の参考となるマッサージ機は必要に応じて、後側エアセルの被固定部とは反対側となる他方の側端部が、前側エアセルの底部寄りの一部の部位に重なる配置とされるものである。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

このように本発明の参考となるマッサージ機によれば、後側エアセルの他方の側端部と前側エアセルの底部寄り部位とが重なるようにし、前側エアセルと後側エアセルとの間に隙間を生じさせないことにより、溝部内の脚に対し同じ脚内側又は脚外側に位置する前側エアセルと後側エアセルを共に膨張させた場合に、各エアセルが間を空けることなく脚に沿う状態となって、二つのエアセルで脚を確実に押圧して溝部の中心へ向う横方向の押圧力を脚に与えられ、溝部を挟んで対向する反対側の各エアセルを収縮させた際には、膨張させた方の前側エアセルと後側エアセルで押圧した脚をスムーズに横移動させて反対側の側壁部に寄せた状態にすることができる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、本発明の参考となるマッサージ機は必要に応じて、前記脚支持部が、被施療者の足の側部及び足裏を少なくとも取囲むように形成されて足を支持する足支持部を有してなり、当該足支持部に、空気の給排により膨縮動作する施療機構としての、足外側と足内側とで対をなす足側部エアセルが、足を側方から押圧可能に配設され、各エアセルを膨縮動作させる空気給排調整機構が、前記前側エアセル及び／又は後側エアセルの脚内側に位置するもの、並びに、足側部エアセルの足外側に位置するものを同時に膨張させ、且つ残りの脚用エアセル及び足側部エアセルは膨張させない状態と、前側エアセル及び／又は後側エアセルの脚外側に位置するもの、並びに、足側部エアセルの足内側に位置するものを同時に膨張させ、且つ残りの脚用エアセル及び足側部エアセルは膨張させない状態とを、所定周期で切替可能とされるものである。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

このように本発明の参考となるマッサージ機によれば、脚支持部に設けられる足支持部に、足外側と足内側とから足を押圧可能な足側部エアセルがそれぞれ配設され、本体部における脚内側の各エアセルの膨張と共に足外側の足側部エアセルを膨張させ、且つそれぞれ反対側のエアセルを膨張させないようにして、足をその上の脚に対し相対的に内側に大きく移動させる状態を得ると共に、この状態と切替えて、脚外側の各エアセルの膨張と共に足内側の足側部エアセルを膨張させ、且つそれぞれ反対側のエアセルを膨張させないようにして、足をその上の脚に対し相対的に外側に大きく移動させる状態を得、こうした足の移動を繰返させる。これにより、足が脚に対し相対的に外側へ大きく移動した際には、脚の内側部がストレッチ状態となり、また、足が脚に対し相対的に内側へ大きく移動した際には、脚の外側部がストレッチ状態となり、これらの繰返しで、脚側部へのストレッチ

の刺激を内外交互に与える施療を実行でき、効率よく脚の内外両側部を伸して高い施療効果を得られる。さらに、仮に足支持部に足裏に接する突出部を設けている場合は、足が側方に繰返し移動して突出部と足裏との位置関係を変えるのに伴って、突出部から足裏にさすりに近い刺激を与えることもでき、多様でバリエーションに富む施療を行え、優れたマッサージ効果を付与できる。